

倉浜衛生施設組合 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
実施状況（2021年度実績）

1 二酸化炭素排出量削減目標達成状況

倉浜衛生施設組合の事務・事業により排出された2021年度の温室効果ガス排出量は、61,334,388kg-CO2で、基準年度（2019年度）に比べ、17,632,583kg-CO2排出量は減少しました。

主な減少した要因は、総排出量の95.8%を廃棄物の焼却が占めているため、表2に示すエコトピア池原（熱回収施設）からの排出量の減少が大きいと考えられます。廃棄物焼却の内廃プラスチック焼却量がCO2排出量の大部分を占めており、2021年度の廃プラスチック焼却からの排出量は、57,427,640kg-CO2で、基準年度（2019年度）に比べ、11,493,035kg-CO2減少していることがCO2排出量減少の理由となっております。

表1 基準年度との比較

区分	排出量（単位：kg-CO2）		削減量（削減率）
	基準年度（2019年度）	2021年度	
温室効果ガス	78,966,971	61,334,388	△ 17,632,583 (△ 22.33 %)

2 倉浜衛生施設組合の施設毎の温室効果ガス排出状況

倉浜衛生施設組合の各施設毎の温室効果ガス排出状況は下記のとおりです。

表2 2021年度施設毎の温室効果ガス排出量

No.	施設名称	排出量（単位：kg-CO2）		
		基準年度 (2019年度)	2021年度	比較
1	エコトピア池原 (熱回収施設)	78,010,284	60,396,537	△ 17,613,747
2	エコループ池原 (リサイクルセンター)	51,719	50,135	△ 1,584
3	エコボウル池原 (最終処分場)	436,125	384,503	△ 51,622
4	清水苑 (し尿処理施設)	462,731	497,797	35,066
5	管理棟	6,112	5,416	△ 696
	合 計	78,966,971	61,334,388	△ 17,632,583

3 要因別温室効果ガス排出状況

倉浜衛生施設組合の事務・事業による温室効果ガス排出状況を要因別にみると、ごみの焼却によるものが全体の95.8%を占め、次いで燃料の使用によるものが2.17%となっています。

表3 2021年度要因別の温室効果ガス排出状況

項目	施設名称	基準年度の活動量(2021年度)						CO ₂ 排出量 [kg-CO ₂]	合計	割合(%)
		エコトピア 池原	エコープ 池原	エコボウル 倉浜	清水苑	管理棟	計			
燃料の使用	ガソリン[L]	1,420	0	886	288	2,211	4,805	11,148	1,333,549	2.17%
	灯油[L]	500,000	0	0	0	0	500,000	1,245,000		
	軽油[L]	4,449	18,729	3,534	1,776	0	28,488	73,499		
	LPG[m ³]	630	0	0	23	0	653	3,902		
電気の使用[kWh]		590,710	0	505,959	590,568	0	1,687,237	1,243,494	1,243,494	2.03%
自動車の走行	ガソリン[km]	3,901	0	8,958	4,898	32,737	50,494	631	815.4	0.00%
	軽油[km]	0	25,225	0	15,321	0	40,546	184		
重機の稼働	軽油[h]	1,950	2,400	0	0	0	4,350	91	1970.3	0.00%
	軽油(大型)[h]	0	3,900	697	0	0	4,597	1,880		
カーエアコンの使用[台]		2	4	3	2	4	15	215	215.0	0.00%
廃棄物の焼却[t]		74,859	0	0	0	0	74,859	1,264,863	58,692,503	95.8%
内廃プラスチック焼却量[t]		20,732	0	0	0	0	20,732	57,427,640		
し尿の処理[m ³]		0	0	0	7,958	0	7,958	2,205	2,205	0.00%
CO ₂ 排出量[t-CO ₂]								61,275	61,275	

図1 2021年度要因別の温室効果ガス排出状況

